



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2017年度 NO.2

■目次

- ・第19回大会準備状況報告
- ・理事会報告
- ・臨時総会報告
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・企画研究WG報告
- ・楨本記念賞WG報告
- ・2018年度高良記念研究助成募集
- ・支部活動報告
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報

第19回大会準備状況報告

2018年9月3日(月)・4日(火)の2日間、日本インターンシップ学会第19回大会を香蘭女子短期大学にて開催いたします。今大会のテーマは、「地域との連携強化とインターンシップの今後のあり方」です。ご承知のとおり、平成26年4月8日付で文部科学省、厚生労働省、経済産業省が連名で『「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」の見直しの背景及び趣旨について』を発表しました。インターンシップを通じての学生の学びについて、『大学等は、課題発見・探求能力、実行力といった「社会人基礎力」や「基礎的・汎用的能力」などの社会人として必要な能力を有する人材育成が求められており、その有効な手段として、学生が産業や社会についての実践的な知見を深める機会であるインターンシップの推進が必要と考えられています』とし、大学側の深い関与(単位化等)、企業側には事業の継続性等を求めています。一方で、就職活動時期が毎年のようにめまぐるしく変わるようになり、上記のような本来のインターンシップの目的とかけ離れたいわゆる「1Dayインターンシップ」のような事例も多く見受けられるようになってきました。しかしながら、九州内だけを見渡しても、「中長期・実践型インターンシップ」の事例も増え、学生たちの成長の場が着実に根付きつつあるように思われます。

こうした時代の変化、環境の変化を受け、本大会では、「地域」との繋がりを強化することを通じて、地域の活性化を図ることを大きな目標とし、これからのインターンシップのあり方について、多くの知見を集め、討議できればと考えております。また、今回は、4年ぶりの福岡県での開催ですので、地域



の特性を前面に出したいと考えています。具体的には、香蘭女子短期大学は、福岡市内(南区)にありますが、福岡市は現在、「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」に選ばれるなど、「起業」が盛んな地域として知られています。また、「福岡スタートアップカフェ」等の支援も近年得られるようになり、博多駅周辺や天神地区では「起業家」が集まる地域も出現し、地域の活性化に繋がっているようです。こうした地域特性を鑑み、大会初日は、「起業とインターンシップ」をテーマに基調講演をしていただく予定にしております。また、続くシンポジウムにつきましても、従来あまり取り上げられてこなかった「起業」を目指したインターンシップの可能性や、事例紹介などを通じ、サラリーマンとして活躍する道だけではなく、「起業家」としての道も示すことにより、これからのインターンシップのあり方について検討できればと考えています。

2日目は、恒例の高良記念研究助成発表を行った後、会員による自由研究発表を行います。近く、第19回大会のウェブサイトを立て上げますので、研究発表のお申し込み、大会参加のお申し込み等は、大会ウェブサイトをご活用ください。詳細はウェブサイト及び大会開催要項(6月末頃に発送予定)でご確認をお願いいたします。

[第19回大会ウェブサイト]

<https://sites.google.com/g.koran.ac.jp/jsi2018/>

最後になりますが、ご参加いただいた皆様にご満足頂けるような大会にしたいとスタッフ一同努力してまいります。大会実行委員をあげて多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(第19回実行委員会委員長 中濱雄一郎・香蘭女子短期大学)

理事会報告

2017年度第3回理事会(11月18日 於:玉川大学)

(1) 入退会申請について

事務局長より入退会の申請なしの旨、報告された。

(2) 第19回大会について

折戸会長と眞鍋副会長の両名が第19回大会の開催校である香蘭女子短期大学の坂野学長および内野事務局長に依頼に行き、快諾を得た旨の報告がなされた。

(3) 監事の選出について

第18回大会時に開催された理事会・総会で承認された沢田隆会員の監事選出について、任期の規定に抵触するため承認の解消に至った旨の報告がなされた。規約には監事を2名選出というルールがあるため、承認済みの横山皓一監事の他に北海道文教大学の森谷一経会員が会長より推薦され承認された。本件については12月に臨時総会を開催の上、審議することとなった。

(4) 2017年度一般会計・特別会計予算および事業計画

事務局長より、前回総会時配布の予算資料および事業計画について報告がなされた。

(5) 各種委員会・ワーキンググループの構成委員

折戸会長より各種委員会の構成委員の紹介がなされた。副会長についてはそれぞれ担務、常任理事の方には運営委員を依頼する旨の内容であった。

(6) 文部科学省からのインターンシップ表彰制度に係る連携依頼

松坂常任理事より、文部科学省から打診のあったインターンシップ表彰制度の連携について、制度概要および文部科学省担当者との打ち合わせ内容について報告がなされた。また、今後どのような連携の可能性のあるのかについては継続協議していくこととなった。

(7) 支部報告

各支部を代表する理事より支部活動に関する報告がなされた。

(8) 事務局報告

事務局長より、12月初旬に予定している2017年度ユースレター第1号の会員への発送についての報告、ならびに理事会出席に係る旅費助成についての確認の説明がなされた。

2017年度第4回理事会(2月17日 於:キャンパスプラザ京都)

(1) 入退会申請について

事務局長より入会の申請者について、個人会員2名の申請があり、申請理由書等の確認の上2名共に承認された。退会の申請については、個人会員5名と法人会員2団体の申請があり、全て承認された。

(2) 支部報告

各支部を代表する理事より支部活動に関する報告がなされた。

(3) インターンシップ表彰制度に係る文部科学省との意見交換に関する報告

松坂理事より文部科学省担当者との意見交換に関する報告がなされた。文部科学省と本学会との表彰基準の違いなどが指摘され、今後も継続協議していくこととなった。

(4) 年報編集委員会報告

長尾理事提出の資料を基に、年報に関する報告がなされた。活動報告として十分な価値がある一方で、ここ数年の掲載論文数の少なさが指摘された。本件については、継続協議していくこととなった。

(5) 委員会およびワーキンググループのメンバー構成

折戸会長より、確定および未確定のメンバー構成について報告がなされ、未確定のメンバー構成については適宜決定していく旨の意向が示された。なお、高良記念委員会については、規程に従って高良記念の委員を選出し、委員長については委員の互選で決定することが確認された。

(6) 規定の改定について

折戸会長より規程における不整合部分を改定する必要性が示された。今後の改定に際して、執り行う委員会の設置が承認された。

なお、各理事会で行われたそのほかの委員会・WG、支部の報告の詳細につきましては、本 NEWS LETTER の委員会・WG・支部の報告記事をご参照願います。

(事務局)

臨時総会報告

2017年度臨時総会（12月26日 於：嘉悦大学）

(1) 監事選出について

折戸会長より、理事会推薦者として森谷一經会員の監事候補推薦があり、本臨時総会にて承認された。

(2) 学会会則の事務局所在地変更について

2017-2018 学会期理事会より、学会会則の付則 2 に記載の事務局所在地を九州大学から玉川大学に変更する旨の議案が出され、本臨時総会にて承認された。（事務局）

年報編集委員会報告

『インターンシップ研究年報』第 21 号への投稿状況

年報編集委員会では、『インターンシップ研究年報』第 20 号を去る 2 月、会員の皆様のお手元にお届けいたしました。同号では会員からの投稿 5 本に対し、最終的には研究論文の部として〈研究ノート〉を 1 本、資料の部として〈資料〉を 2 本掲載することができました。また、編集規程の改正に伴う同号からの新たな取組として、〈活動紹介〉と〈書籍紹介〉を収録いたしました。委員会では今後も引き続き、年報の内容充実をはかってまいります。

次に、次号となる第 21 号への会員の皆様からの投稿状況をご報告申し上げます。今回は、1 月 20 日の〆切までに合計 8 本の投稿が寄せられました。なお投稿種別の内訳は、研究論文の部として〈研究論文〉5 本、〈研究ノート〉2 本、資料の部として〈資料〉1 本です。委員会では査読・編集作業を鋭意進めているところですが、発行スケジュールの詳細につきましては、次号のニュースレターにてご案内申し上げます。

（年報編集委員会委員長 長尾博暢・鳥取大学）

広報委員会報告

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会ウェブサイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。本学会に関連する情報がありましたら広報委員会までメールでお寄せください（jsi.prc@gmail.com）。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

また、このところメルマガの未達も増えています。

アドレスを変更された際には学会 web サイトより会員情報の更新をお願いいたします。

（広報委員会委員長 高橋秀幸・北海道武蔵女子短期大学）

企画研究 WG 報告

2017-2018 年度の企画研究 WG は、各支部から選出いただいた委員で構成されることになりました。委員長・江藤智佐子（九州支部）、副委員長・高橋哲夫会員（東日本支部）、そして北海道支部からは亀野淳会員、小林純会員、東日本支部からは高瀬和実会員、関西支部からは松高政会員、九州支部からは古賀正博会員の 7 名が担当いたします。

会員の皆様の研究活動促進のために、これまでの実践的な活動を研究に結びつける方策に加え、新たな取り組みも今後検討していく所存です。新しい WG 委員と共に、各支部の皆様のご意見を取り入れつつ、研究の活性化につながるよう、委員一同精進してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

（企画研究 WG 委員長 江藤 智佐子・久留米大学）

楨本記念賞 WG 報告

昨年度より文部科学省は、「インターンシップの更なる充実に向けて議論の取りまとめ」（インターンシップの推進等に関する調査研究協力者会議）の検討を基に、インターンシップの量的拡大・質的充実に向けた具体的な推進方策の一つとして届出制度をスタートさせました。正規の教育課程としてのインターンシップに必要な要素として挙げられている 6 項目を満たすインターンシップが、163 校の大学等から 302 課程申請されました。今後届出されたインターンシップの中からグッドプラクティス事例を表彰する制度を創設する予定とのことです。この表彰制度に関して、文部科学省とも意見交換して参りました。今後は、意見交換の内容を踏まえつつ、同様に秀逸なインターンシップ事例を発信してきた楨本記念賞のあり方等についてワーキンググループメンバーの皆様と議論し、本学会らしい表彰制度を追求していきたいと考えております。

【参考】独立行政法人日本学生支援機構 大学等におけるインターンシップの届出制度

<https://www.jasso.go.jp/gakusei/career/event/todokede/index.html>

(楨本記念賞 WG 委員長 松坂暢浩・山形大学)

2018年度(第11回)高良記念研究助成募集について

「高良記念研究助成」制度は、高良和武名誉会長から学会へご寄付いただいた基金をもとに、2007年度よりインターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図ることを目的として、優れた研究課題へ研究助成を行うものです。今回も昨年と同様に委員会を立ち上げることを予定しております。募集要項、申請書式等、申請に係る書類は学会ホームページに掲載し、各会員に郵送で送付する予定です。

2018年度の研究助成につきましても、会員の皆様には是非ご応募いただきますようお願いいたします。申込締切り後、採否を委員会において審査し、理事会で決定し、研究助成対象者は大会の総会席上にて発表する予定です。助成期間は1年となります。研究成果は次年度の大会にて発表いただいた後、研究年報に論文を投稿していただきます。国内外における多様な視点からのインターンシップ研究、その実践活動の展開に関する研究など幅広い内容の応募をお待ちしております。

(高良記念研究助成審査委員会)

支部活動報告

【北海道支部】

北海道支部2017年度総会・第1回研究会を開催

2018年3月8日(木)、札幌国際大学経済センターキャンパスにおいて、2017年度の支部総会および第1回の研究会を実施しました。本会には11名の方にご参加いただきました。

支部総会では2016年度の活動総括、また2017/2018年度の活動方針についての議論が行われ、承認されました。また、来期は2年ごとの役員改選にあたるため、総会にて新役員の選任を行いました。その結果、2018年6月より北海道支部長として高橋秀幸会員(北海道武蔵女子短期大学)、副支部長として森谷一経会員(北海道文教大学)、小林純会員(札幌国際大学短期大学部)が選任されました。その他、運営委員も一部交代し、5名の会員が選任されております。

引き続き研究会が開催され、2件の研究発表が行われました。今回の発表者と題目は以下の通りです。

① 高橋 彩会員(北海道大学)「グローバル人材育成としての国際インターンシップの取組」

② 椿 明美会員(札幌国際大学短期大学部)「地方文系大学の学修とつながるインターンシップ—職業統合学習の可能性を探る—」

インターンシップは職業体験だけでなく、キャリア教育や人材育成の要素を取り入れながら多くの教育機関で実践が進められています。今回の発表も教育効果の実効性や、参加者の意識変化など多くの示唆に富む内容で、フロアとの活発な議論が交わされました。

北海道支部2017年度第2回研究会のお知らせ

北海道支部では、6月17日(日)に北海道武蔵女子短期大学において第2回の研究会を開催する予定です。開催内容、日程等が決定次第、支部会員にメールにてお知らせいたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

(北海道支部広報担当 小林純・札幌国際大学短期大学部)

【東日本支部】

2017年12月17日、古閑博美支部長(嘉悦大学)、牛山佳菜代事務局長をはじめとする新体制のもと、東日本支部では、第2回研究会を岩手県立大学アイーナキャンパスにて開催致しました。第2回研究大会では、東北地域内連携6大学と地域支援団体等によって2014年7月に発足した東北インターンシップ推進コミュニティの3年間の取り組みについて、高橋郁磨氏(岩手県立大学)にご講演をいただいた後、松坂暢浩氏(山形大学)、渡辺一馬氏にもパネリストとして加わっていただき、高瀬和実氏(岩手県立大学)のコーディネートによるシンポジウムを開催しました。さらに、村上正夫氏(嘉悦大学)による自由研究発表がおこなわれるなど、第2回研究大会は、盛況のうちに幕を閉じることができました。

加えて、2018年3月3日には、ものづくり大学において、第3回研究会を開催致しました。第3回研究大会では、ものづくり大学の1期生でもある伊藤嘉男氏(有限会社伊藤建設)の「インターンシップ制度に思うこと～学生と受入担当者の立場を経験して～」と題した基調講演をふまえ、宮本伸子氏(ものづくり大学)から「インターンシップ受入企業の開拓と継続に関する提案」がなされた後、薬師丸正二郎氏(立教大学)の司会進行のもと、車座討論会がおこなわれました。薬師丸正二郎氏(立教大学)からは、その後、示唆に富む貴重な研究発表もいただくことができました。

2つの研究会の開催前には、役員会が開催され、

研究会の運営をはじめ、ご参加いただく会員の皆様に満足していただける充実した研究会を開催するための入念な準備がおこなわれるなど、東日本支部では、新たな役員体制のもと、支部活動の更なる充実を目指したさまざまな取り組みを始めています。東日本支部の会員の皆さまをはじめ、全国の会員の皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、研究会へのご参加を心よりお待ちしております。

(東日本支部運営委員 山口圭介・玉川大学)

【関西支部】

関西支部は、2月27日(土)と4月14日(土)の2度にわたって、キャンパスプラザ京都において、支部運営委員会を開催しました。

まず、第13回支部研究会を8月10日(金)の夕方にキャンパスプラザ京都で開催すること、報告者を廣瀬幸弘 会員(関西支部長/立命館大学)と田中寧 氏(京都産業大学)とすることを決定しました。いずれも正式なタイトルは決まっておりますが、それぞれの大学での近年における国際的な取り組みを紹介していただく予定です。タイトルなどの詳細が固まりましたら、JSIのホームページに掲載してもらう予定です。できれば事前にご連絡いただいた上で、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

また、2019年の大会開催校(関西支部が担当)についても議論が行われました。全国屈指の大学集積地である京都に本部を置く大学で大会が開催できまうよう、廣瀬支部長の下、着実に準備していくことになりました。

このほか、関西支部運営委員会では、関西支部運営委員の一部見直し(委員2人のご退会に伴うもの)も了承されました。

(関西支部副支部長・会計 安孫子勇一・近畿大学)

【九州支部】

2017年12月17日(日)、佐賀女子短期大学において2017年度九州支部総会ならびに九州支部第20回研究会「地域との繋がりを活かした短期大学の職業・キャリア教育」を開催しました。支部総会では、2016年度活動報告ならびに会計報告、2017年度活動計画ならびに予算案が提示され、承認されました。

第20回研究会は、本学会と連携活動を進めてきた短期大学コンソーシアム九州との共催で開催されました。短期大学におけるインターンシップと職業統合的学習(WIL)についての7名の報告ならびにパネル・セッションが行われました。当日は、学会員、

短期大学関係者39名の参加がありました。

本年度九州支部で開催される第19回全国大会の準備のため、2018年2月14日(木)に香蘭女子短期大学において九州支部役員の会合が行われました。

第21回九州支部研究会は、2018年4月28日(土)に九州大学にて「職業統合的学習(WIL)とコンピテンシー」をテーマとして開催しました。

(九州支部広報委員 小嶋紀博・教育雇用事情研究所)

事務局からのお知らせ

会員情報変更および確認の連絡について

4月以降に新天地で活動を開始された会員も多きことと存じます。学会では2016年6月より学会運営業務の一部を株式会社ガリレオへ外部委託すると共に、会員情報管理システム(SOLTI)を導入することになりました。同封の「会員原簿登録情報」の確認をお願いいたします。システムを通じ、会員原簿登録情報の更新・確認、会費納付状況や会誌発送状況の確認等の手続きがオンラインで可能となります。修正が必要な場合は、会員情報管理システム(SOLTI)にログインして修正を行ってください。

会費納入のお願い

本学会は2011年度より事業年度及び会計年度が7月から翌年6月までに変更になっております。については、2018年度会費については、別途納入依頼をお送りさせていただきます。

なお、2017年度の会費未納の方は、郵便振替用紙かゆうちょ銀行からの振込(ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は手数料が無料です)で、下記振込先までお送り下さいますようお願いいたします。なお、振込手数料は各自でご負担願います。

【会費振込口座】

- ・郵便口座 02750-1-108419
口座名義(「加入者名」の欄)
: 日本インターンシップ学会
- ・ゆうちょ銀行
店番: 279 (当座) 口座番号108419
口座名義: 日本インターンシップ学会

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2017 No.2

発行日：平成 30 年 5 月 31 日

発行：日本インターンシップ学会 会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 高橋 秀幸

印刷：日本インターンシップ学会事務局 事務局長 根木 良友

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学キャリアセンター内

E-mail : jsi-sec@js-internship.jp

Tel : 042-739-8915 Fax : 042-739-8921